

平成24年度
那霸市若狭公民館
事業報告



II 平成24年度若狭公民館事業目次

1 学習風景（写真）	3
2 成人一般対象事業	
〔1〕市民講座	
◇おしらせの方法、教えます！	4
◇おしらせの方法、教えます！〔実践編〕	5
◇自分らしさを添えて・・・『絵手紙教室』	6
◇琉球八社を訪ねて	7
◇那覇の歴史を知るvol.1～戦後那覇における料亭の立地展開～	8
◇那覇の歴史を知るvol.2～象棋～	9
◇ロープワークをおぼえよう！	10
〔2〕成人講座	
◇シンポジウム「平等と自立を手に入れるために」vol2	11
◇震災とアート～“記録”と“伝える”ということ～	12
◇復帰あの頃を知る「沖縄の過去・現在・そして将来」	13
3 青少年対象事業	
〔1〕少年教室	
◇夏休み！若狭公民館 こどもモノづくり教室	14
◇若狭サファリパーク！～アニマル・オリンピック2012！～	15
◇WAKASAこどもクラブ	16
〔2〕青年のための講座・交流事業	
◇うちなーぐちで伝える未来	17
〔3〕親子ふれあい教室	
◇親子で防災やってみよう！	18
〔4〕放課後子ども教室	
◇若狭公民館地域子ども教室	19
4 家庭教育事業	
〔1〕乳幼児学級	
◇Happyマタニティクラブ	20
5 その他事業	
〔1〕地域連携事業	
◇前島小学校学童「ピザづくり」	21
◇第16回若狭地域文化祭	22
◇簡単しめ縄づくり	23
◇若狭クリーン・グリーン・グレイシャス運動	24
◇新春もちつき大会	25
◇第18回ナイトウォーク	26
6 公民館まつり	27, 28

1 学習風景



☆青年のための講座・交流事業
「うちなーぐちで伝える未来」



☆親子ふれあい教室
「“親子で防災”やってみよう！」



☆地域連携事業
「新春もちつき大会」



☆地域連携事業
「簡単しめ縄づくり」



☆少年教室
「WAKASAこどもクラブ」



☆少年教室
「若狭サファリパーク！」
～アニマル・オリンピック 2012！～

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

おしゃらせの方法、教えます！

趣 旨： PTA、自治会などさまざまな地域活動を行なう団体にとって、地域の情報を収集し発信するのは、活動をより活発にするために必要不可欠である。他方、現代ではネットを用いた様々な情報共有・情報発信手段が存在する。団体の特性、ニーズに応じたより良い情報共有・情報発信とは何かを考える講座とする。

期 間： 平成24年5月13日（日）全2回

時 間： 第1回 13：00～14：45 第2回 15：00～16：45

場 所： 若狭公民館第1研修室

対 象： 那覇市内に在住、在勤の方

受講料： 無料

定 員： 20人

申込人数：17人 参加延べ人数：34人

なお、本事業は総務省の行なう情報通信月間参加行事であり、事業費の一部に援助金を受けている。

学習プログラム：

回	日時	講 師	内 容	人數
1	5月13日(日) 13:00～14:45	亀島 良泉 (五泉工房)	上手に情報のやりとりをするには? 団体内の情報共有、メールを活用した方法 により的確かつ効率的に行なう方法を知 る。	17
2	5月13日(日) 15:00～16:45	亀島 良泉 (五泉工房)	楽しく情報発信するには? イベントのお知らせを、振り向いてくれる 情報にするために、どのように情報発信を 行なうのかを知る。	17



(左) 亀島講師の講話／(中) メール文面の実例を挙げて／(右) 受講者が作成した紹介文を発表
(参加者の声)

- ・とても参考になりました！ これから講座、イベントの広報時に今日学んだことを活かしていきたいと思ひます。とても分かりやすく楽しい講座でした。ありがとうございました。
- ・実際に自分で告知メールを作成する実践はおもしろかったです！わかりやすい内容、参考になりました。
- ・講座を開催して下さいまして誠にありがとうございました。テーマ、内容ともによかったのですが、もっと細かい所までふみ込んだ内容をと思いましたので、ぜひ今回だけでなく定期とまではいかなくても数回の開催を希望します。

おしらせの方法、教えます！【実践編】

趣 旨：PTA、自治会などさまざまな地域活動を行なう団体にとって、地域の情報を収集し発信するのは、活動をより活発にするために必要不可欠である。前回「おしらせの方法、教えます」を実施した後、とりわけPTA会員からは強い要望があった。よってPTAの広報に特化し、実践的な内容を伝える講座とする。

期 間：平成24年7月2日（月）、7月4日（水）全2回

時 間：19:00～21:00

場 所：若狭公民館第1研修室

対 象：那覇市内に在住、在勤の方

受講料：無料

定 員：20人

申込人数：22人 参加延べ人数：24人

学習プログラム：

回	日 に ち	講 師	内 容	人 数
1	7月2日(月)		ブログ、twitterによる情報共有の具体的手段。	18
2	7月4日(水)	新田 雅一 (M.plant Works 代表)	Googleカレンダー等によるスケジュール共有の方法。	6



（左）新田講師による説明／（中）講師の説明を熱心に聞く受講者／（右）作業に集中する受講者

（まとめ）

5月の情報通信月間行事として行なった講座受講者、特にPTAとして活動する受講者たちから、さらに実践的な内容での継続を希望する声が多く寄せられ、講座開催後の7月に続編となる実践編を行なうこととなつた。

このようなパソコンを利用して行なう講座は、受講者のパソコン利用の頻度や習熟度によって差がつくために当初の予定よりも時間がかかった面もあったが、早速ブログを開設して活動報告を行なう受講者も現れるなど、地域で活動する団体がよくもつ情報共有、情報発信の悩みを解決する緒となる講座を行えたと考えている。

自分らしさを添えて・・・『絵手紙教室』

趣 旨： 絵手紙に自分らしさを表現すると共に、作品を通じ希薄になりがちな人ととのつながりや絆を深める。

期 間： 平成24年11月22日（木）・11月28日（水）の 全2回

時 間： 11月22日（木）午後2時～4時・11月28日（水）午前9時～午後4時

場 所： 若狭公民館 第1研修室

対 象： 那覇市在住・在勤する方

受講料： 無料（但し、材料費300円は、自己負担）

定 員： 20人 参加延べ人数：42人（第1回 18人、第2回 24人）

講 師： 赤嶺 幸雄（沖縄県美術教育推進協議会会長）

プログラム：8月1日（水）水彩画の基礎を学び、作品の題材を考える。

8月8日（水）お礼状や残暑見舞い等を作つてみましょう。



（受講者の声）

- ・ 初めて受講しましたが、大変良かったと思います。これからも続けていただきたいと思います。
- ・ 楽しく受講できました。ありがとうございました。もっとやってみたいです。
- ・ 短い時間でしたが充実した内容の勉強をすることが出来ました。
- ・ 何年振りかで絵具を使う機会が出来良かったです。楽しく参加させていただきました。
- ・ 絵が苦手なので不安でしたが、絵手紙らしく出来上がり満足しています。指導者の先生方に感謝申し上げます。

（まとめ）

ちょっと億劫になりがちなお礼状や季節ごとのあいさつ状を、もっと気軽に書いて、自分らしい心のこもったメッセージを相手に届けることが出来ればと思い絵手紙講座を企画しました。絵は苦手だとし込みしていた方が殆んどでしたが、仕上がった自分の作品に大満足の様子でした。これからは、気軽に筆を取り、絵手紙を通して多くの方と絆を深め、豊かな心を持ち続けていただきたいと思います。

■琉球八社を訪ねて

趣 旨： 琉球王朝の時代から、沖縄には波上宮・識名宮・末吉宮・安里八幡宮・普天満宮・沖宮・金武宮・天久宮などの神社があり、琉球八社と呼ばれている。そこで、琉球古来の土着信仰から始めて神仏混淆の時代、そして現代にいたる沖縄の神社について学ぶ機会とする。

期 間： 平成24年11月22日（木）・11月28日（水）の 全2回

時 間： 11月22日（木）午後2時～4時・11月28日（水）午前9時～午後4時

場 所： 22日は、波上宮参集殿 28日は、沖宮ほか4社

対 象： 那覇市在住・在勤・在学する方

受講料： 無料（但し、28日のバス代金・昼食代・傷害保険料などの実費3,000円は、自己負担）

定 員： 30人

申込人数： 40人

参加延べ人数： 69人（第1回 36人、第2回 33人）

講 師： 渡慶次 馨 氏（波上宮 宮司）

プログラム： 11月22日（木）琉球八社について学ぶ。雅楽・神楽舞の鑑賞。

11月28日（水）沖宮・識名宮・末吉宮・普天満宮・波上宮の移動学習



（受講者の声）

- ・ 今回行かなかった天久宮と安里八幡宮を歩いて回る補講を開いてほしい。渡慶次宮司のお話は、大変わかりやすかった。
- ・ ゆったりとしたスケジュールの中にも、中身の濃い充実した内容の講座でした。神社についても学ぶことが出来て良かった。
- ・ 民衆との関わりや、王府との関わりなど生活と密着していることを知りました。渡慶次宮司・沖宮の大城様・普天満宮の新垣宮司の説明もわかりやすく有意義でした。
- ・ 1回目の座学による概略の説明があり琉球八社への理解に役立ちました。講話が心地よく頭に入り、満足でした。
- ・ 普段なかなか接する機会の少ない、雅楽の演奏や神楽舞の鑑賞が出来て良かった。はじめて、楽器の説明を聞きました。この様な機会を設けてくださった関係者の皆様に感謝申し上げます。

（まとめ）

1回目に、琉球八社について事前学習を行うことにより、実際に八社を巡り説明を受けた時の理解度が、上がったようです。雅楽の演奏や神楽舞は、心洗われる思いで優雅な時の流れを楽しむことが出来て大変良かったと思いました。各神社での案内や説明に神職の方々の協力をいただき、充実した講座になったと思います。宗教色が濃くならない様に注意しながら講座をすすめました。

那覇の歴史を知るvol.1

～戦後那覇における料亭の立地展開～

趣 旨： 若狭公民館周辺のいわゆる旧那覇は、古くから港のある町として発展し、現在も数多くの歴史的な場所や文化が残されている。旧那覇を様々な観点、講師によって紹介し、地域を知るきっかけ作りや理解を深めるものとする。

なお本講座は、若狭公民館開館20周年記念講座「那覇の歴史を知る」の一貫として実施したものである。

期 間： 平成24年11月9日（金）（全1回）

時 間： 19:00～21:00

場 所： 若狭公民館和室 対 象： 那覇市内に在住、在勤、在学の方

受講料： 無料 定 員： 50人 参加人数： 47人

学習プログラム：

回	日にち	講 師	内 容
1	11月9日(金)	加藤 政洋 (立命館大学文学部教員・ 「那覇 戦後の都市復興と歓 楽街」著者)	那覇の戦後復興における料亭の立地について 着目し、料亭がどのような場所に建設され、 営業を続けたのか、料亭の変遷が戦後那覇の 動向の何を表しているのかを講義。



(左) 資料を説明する加藤講師／(中) 多数の受講者が集まつた／(右) 活発な質疑応答

(参加者の声)

- ・意外性のあるテーマでした
- ・これまで知らなかった歴史がわかりやすく整理されて地理学はおもしろいなと思いました。
- ・丁寧なご講義ご説明ありがとうございました。
- ・「那覇」の本を先に読ませていただきました。おもしろい視点で他にない講座だと思いました。

(まとめ)

地域の歴史を知る意味で、若狭周辺にも多かった料亭を取り上げた講座を行なうと考え、今回のようなテーマでの講座を行なった。多くの受講者が集まり、またこれまでにない視点でみた地域の歴史でもあったためか、歴史活発な質疑応答が見られた。講師は普段関西地方の大学に所属されているが、講座の趣旨を鑑みて、他の研究調査の折に立ち寄り講座を行なって下さった。このような協力をいただいたことを記して感謝申し上げたい。

那覇の歴史を知るvol.2

～象棋～

趣 旨： 若狭公民館周辺のいわゆる旧那覇は、古くから港のある町として発展し、現在も数多くの歴史的な場所や文化が残されている。旧那覇を様々な観点、講師によって紹介し、地域を知るきっかけ作りや理解を深めるものとする。

なお本講座は、若狭公民館開館20周年記念講座「那覇の歴史を知る」の一貫として実施したものである。

期 間： 平成24年11月14日（水）～11月28日（水）（全3回）

時 間 19:00～21:00

場 所： 若狭公民館和室 対 象： 那覇市内に在住、在勤、在学の方

受講料： 無料 定 員： 20人 申込人数： 14人

学習プログラム：

回	日にち	講 師	内 容	人數
1	11月14日（水）	仲村 順 (象棋普及会 代表)	象棋を知る その歴史を学ぶ 講師の集めた資料などのスライドを見ながら、象棋の歴史を学習した。	14
2	11月21日（水）		象棋で遊ぶ 基礎編 駒の動かし方を学習した。 また現在も象棋を行う久米同進会のメンバーによる対局の披露も行われた。	11
3	11月28日（水）		象棋で遊ぶ 応用編 実際の大会の様子を模して、受講者のリーグ戦形式で対局を行った。 講師の好意により、成績上位者には賞品も授与されるなど、盛り上がる内容となった。	12



（左）スライドを説明する仲村講師／（中）盛り上がる対局／（右）久米同進会会員による対局披露

（参加者の声）

- ・無料講座を、琉球に関する物が更に多くお願い致します。事業案内をFacebookに掲載してください。
- ・もう少し続けたかった。
- ・試合があるならば出場したい。

（まとめ）

当館のある若狭に隣接する久米で行われている象棋を取り上げて、講座を行なった。珍しい将棋盤と見慣れない駒に、受講者は高い関心を寄せていた。

ロープワークをおぼえよう！

趣 旨： 子どもから大人まで、日常生活に役立つロープワークを身につけることを目的とする。同時に、技術を持つ人と地域住民が繋がり、今後の地域行事やまちづくり行事でも生かされる事を趣旨とする。受講後は、家庭での清掃、引っ越し、さらに地域行事など生かされる事を目的達成とする。

期 間： 平成25年3月2日（土）

時 間： 10:00～12:00

場 所： 若狭公民館 ホール、駐車場

対 象： 那覇市在住、在学、在勤の方（小学校4年生以上）

受講料： 無料（但し、保険料、資料代金として1人100円）

定 員： 30名

申込人数：15人

参加者数：12人

講 師： ボーイスカウト那覇16団

プログラム	使用材料など
基 本（もやい結び、本むすび、ひきとけ）	ロープ 2ヒロ*
新聞・段ボールをくくる	ビニールヒモ 約3ヒロ
杭につなぐ（まきむすび）	パネルの台、ロープ2ヒロ
トラックの荷台に荷物をつなぐ	ロープ、軽トラック

* 1ヒロ（尋）：尺貫法の長さの単位。大人が両手をいっぱいに広げた長さ。5～6尺（1.5～1.8m）



（参加者の声）

- ・ 大変楽しかった。頭では理解できているようでも、実際に手を動かすと、こんがらがってしまう。日頃より実践することが一番ですね。
- ・ 面白かったです。今日中に復習したいと思います。赤ちゃん連れでも参加させていただけて嬉しかったです。ありがとうございました。乳幼児学級以外の講座にも参加したいと思っている母が多いと思います。
- ・ 講座の続編を期待します。一回では覚えられず、もう少し様々なひもで結び方を学べると実践的かと思いました。
- ・ 楽しみながら学ぶ事が出来、実践的にも日常的にも使える事に満足しています。又、学びたいと思いました。
- ・ 面白かったです。実用的でした。
- ・ ぜひ家でも活用させていただきます。お疲れさまでした。

（まとめ）

アンケート結果から受講生の反応の良さが伺えた。講師の指導を頭で理解するのではなく、手で覚えるまで何度も繰り返すこと、実際に作業をすることが重要であると実感した。講座の続編が実現するとうれしく思う。定員割れとなったことが大きな反省点となる。

[1] 成人講座

シンポジウム「平等と自立を手に入れるために」vol.2

～歴史背景から考える 日本の婚外子と非婚の母～

趣 旨：沖縄県は離婚率が全国一高いことからも一人親世帯が多く存在することがわかるが、非婚母子世帯は、離婚、死別の母子世帯とは異なり、寡婦控除の対象外となっている現状がある。講師の講話を通して、非婚母子家庭に対する差別について知ると同時に、多様なライフスタイルを受け入れることのできる社会をつくるにはどうすればよいのか、立場を超えて考える場を創出する。

日 時：平成24年7月16日（月・祝）14：00～16：00

場 所：若狭公民館 第1研修室

主 催：那覇市若狭公民館、しんぐるまさあず・ふおーらむ沖縄

協 力：OAM（沖縄オルタナティブメディア）

参 加 費：無料 参加者数：33人

内 容：第一部：講演「家族のかたちの変遷 一婚外子を視点に―」
猿ヶ澤かなえ（フランス国立東洋言語文化研究所博士課程）
第二部：対談とフロアディスカッション「非婚シングルマザーの現状」
猿ヶ澤かなえ × 秋吉晴子（しんぐるまさあず・ふおーらむ沖縄）



対談する猿ヶ澤さんと秋吉さん



熱心に話に耳を傾ける受講者



活発に意見が出たフロアディスカッション



USTREAMで中継

(受講者の声)

- ・社会で通例、一般的になっている事をあらためて見直し、個人を尊重して生きる生き方について考えさせられました。人を型にはめて考えてはいけない。自由な選択がもっと当たり前にできる社会にしていくよう、意識を変えていきたいです。
- ・私自身、非婚シングルマザーなので勉強したいと思い受講しました。悩みは多くありますが“このままいいんだ”と思えました。これからパワーバーになりました。ありがとうございます。

(まとめ)

講師が調査のために来沖されるタイミングにあわせてシンポジウムを開催した。非婚母子世帯の当事者、支援者、行政職員など幅広い層の方が受講し、活発に意見交換された。このような議論の場を継続、蓄積する必要性を感じ、OAM（沖縄オルタナティブメディア）の協力を得てUSTREAM（インターネット中継）を取り入れ、発信、アーカイブすることができた。また、今回のシンポジウムはしんぐるまさあず・ふおーらむ沖縄との連携協力がなければ実現することはできなかつた。社会の課題解決に向けて具体的に取り組んでいるNPO等団体との連携の意義をあらためて感じた。

震災とアート

～“記録”と“伝える”ということ～

趣 旨： 東日本大震災直後の状況や地域が復興に向け表現の回復に取り組んでいる様子を収めた映像記録と映像ディレクターの藤井光氏の講話により、被災地の状況を知る。また、被災した状況の中でアートがどのように機能したのか、それを記録し伝えることの意義や留意すべき点などについて考える。

日 時： 平成24年8月15日（水）19：00～21：00

場 所： 若狭公民館 第1研修室

対 象： 那覇市在住、在学、在勤の方

受講料： 無料

定 員： 30人

参加者数： 16人

講 師： 藤井光（アーティスト・映像監督）



(参加者の声)

- ・被災地の状況が映像を通して伝わってきたし、復興に向けて取り組むアーティスト達の姿に感銘を受けた。自分にできることについて考えたい。
- ・容易な解答ではなく、重層的で両義的な価値観を示した映像で、モヤモヤしながらも手探りの議論を通して深く考えることができました。
- ・ネット中継を通して、映像を紹介しながら参加者と議論する手法がおもしろい。公民館でこのような取り組みは、今後いろいろと活用できると思う。

(まとめ)

現在進行形のデリケートな社会問題を、映像で切り取り他者へ提示することに対して、その難しさを感じながらも記録し、伝える活動を行っている講師の真摯な姿によって、わかりやすい感動ストーリーとは異なる被災地のリアリティを感じることができた。また、被災地からもっとも遠い沖縄で、このような映像を紹介できた意義は大きいと思う。しかし、機材トラブルにより、遠隔地に居る講師とコミュニケーションがとりづらい場面もあり、企画者としては可能性と課題の両方を感じる結果となった。

=復帰あの頃を知る=「沖縄の過去・現在・そして将来」

趣 旨： 沖縄県本土復帰40周年を迎えて、あらためて「復帰」について多角的に学ぶことを目的に、復帰当時を知る様々な立場の方から当時の状況や復帰への思いを聞く。復帰40周年を機に、過去を学び、現状を知ることで、参加者それぞれが沖縄の今後について考える機会とする。沖縄県祖国復帰協議会事務局長や沖縄県副知事も務めた吉元政矩氏を迎え、復帰当時の様子についてお話を伺うと同時に、琉球・沖縄の歴史を振り返りながら、沖縄と日本、そしてアジアとの関係やこれから沖縄が進むべき道について考える場をつくる。

日 時： 平成24年12月2日（日）16:00～18:00

場 所： 若狭公民館 第1研修室

対 象： 那覇市在住、在学、在勤の方

受講料： 無料

定 員： 40人

参加者数： 40人

講 師： 吉元政矩（元沖縄県副知事）

主 催： 那覇市若狭公民館・沖縄県復帰っ子連絡協議会 協 力：OAM（沖縄オルタナティブメディア）



（参加者の声）

- ・関東から移り住み数年ですが、沖縄の抱えている歴史の重みについては、まだまだその現実を認識できていません。まさに、過去と現在を明確に捉えた上で、沖縄の未来を同じ沖縄に住む人間として描いていきたいと思いました。
- ・先生のお話おもしろかったです。基地反対運動の歴史をその頃の様子も交えながらお話を伺えてよかったです。勉強になりました。
- ・未来を担う若者として、何を考え行動していくべきか考えるいい機会をいただきました。

（まとめ）

「復帰」40周年を機に、沖縄県復帰っ子連絡協議会と共に開催した「復帰あの頃を知る」シリーズの最終回となる今回は、沖縄県祖国復帰協議会事務局長を務め、後に県副知事まで務めた吉元政矩氏をお迎えした。激動の社会情勢の中、政治の中核にいた立場から、様々なエピソードを交えてお話し下さいました。なかでもオスプレイ配備をはじめとする米軍基地に対する状況から保守革新というわかりやすい構図が壊れようとしているとした上で、沖縄の将来を担う若い世代への期待を込めたメッセージが送られた。また、OAM（沖縄オルタナティブメディア）の協力を得ることで、講座の様子をインターネットで同時配信したほか、事後も記録映像を閲覧できるようにした。

3 青少年対象事業

〔1〕少年教室

夏休み！若狭公民館こどもモノづくり教室

趣 旨：工作やパンづくりなどを通して、モノづくりの楽しさから創造力を身につけると同時に、保護者が不在になりがちな夏休み中の居場所をつくることで、児童の健全育成を図る。

日 時：平成24年7月27日～8月24日 毎週金曜日

場 所：若狭公民館 第一研修室、実習室、和室

対 象：①、⑤は市内の小学3～6年生 ②、③、④は曙、若狭、天妃小学3～6年生

受講料：①100円 ②100円 ③350円 ④400円 ⑤200円（全て保険料込み）

定 員：各回25人

参加延べ人数：98人（①8人、②24人、③30人、④23人、⑤13人）

学習プログラム

回	日 時	タ イ プ	講 師	内 容
①	7／27(金) 10時～12時	ダンボール ワークショップ	儀間 朝龍 (アーティスト／教員)	新しいダンボールのつかい方！ 水に入れ、はがして、紙にする！
②	8／3(金) 10時～12時	楽しい絵の描き方！	宮城 潤 (NPO職員／美術講師)	色鉛筆でこすって凸凹採取！ オリジナル色紙で貼り絵作り！
③	8／10(金) 10時～14時	パンをつくって わいわいランチ会	垣花 マユミ (主婦)	みんなでこねこね生地づくり！ 焼きたてパンで、みんなでお昼！
④	8／17(金) 10時～14時	こねこね クレイアート	上原 みやこ (クレイアーティスト)	カラフル粘土で楽しく工作！ 小物入れなどの作品づくり！
⑤	8／24(金) 10時～12時	モノづくり実験室 風船紙人形づくり	宮城 潤、上江田 常実 (大人の工作部／NPO職員)	風船の浮力を活かしたモノづくり！ 自立する紙人形ができる！



（参加者の声）

ダンボールでノートとかがつくれるということがわかったので、良かったと思います。家でもつくってみたいと思いました。参加してとってもよかったです。

いろいろな描き方を教わって楽しかったです。家でもやってみたいと思います。

はじめてパンを作ったけど上手にできました。またおいしくできたので良かったです。

粘土でものさしを使って魚やくまを作りました。それからビーズとか飾りをうちわに貼るのが難しかったけど楽しかったです。

フワフワういて、フラフラ動いていて、かわいいかったです。次やる時もぜったい参加します！！

（まとめ）

家でもやってみたいという感想も多く、モノづくりへの刺激に効果がみられた。また、受講生同士が仲良くなって連絡先を交換する姿もあり、友達づくりにもつながった。今後は、居場所づくりとして回数を増やし、夏休みだけでなく継続的な事業として取り組めるよう検討したい。

若狭サファリパーク！

～アニマル・オリンピック 2012！～

趣 旨： 子ども達が、地域の公園に「サファリパーク」のイメージを描くこと。また、子ども達の変身願望を引き出し、普段とは異なるエネルギーを得ることを趣旨とする。さらに、異年齢や集団と一緒に、外でノビノビと遊ぶ体験をすることが目的達成である。

期 間： 平成24年8月18日（土）

時 間： 14:00～18:00

場 所： 若狭公民館ホール、若狭海浜公園

対 象： 那覇市内の小学生

受講料： 無料（但し、材料費、保険料として300円は自己負担）

定 員： 20人

申込人数： 22人

参加者数： 21人

講 師： 吉田 悅治（琉球大学 教育学部美術教育准教授）、アシャリフ エリカ、松茂良 恵美（大学院生）



★☆ 学習プログラム ☆★

14:00 15:00 16:10 16:30 16:35 17:50 18:00

公民館集合 開講式 キャップづくり	フェイスペイント、玉入れグッズづくり	ホール片付け 公園に移動	アニマル・オリンピック 開会式 木陰で説明	エサ落とし（ハンカチ落とし） 水分補給（オリジナルドリンク） シューティング（玉入れ）	閉会式 メダル授与 記念撮影 解散
-------------------------	--------------------	-----------------	-----------------------------	---	----------------------------

（参加者の声）

- ・顔に絵を描いたり、紙にぬったりして、おもしろかったです。若狭オリンピックにいって、ふたつの競技ができてよかったです。
- ・動物になって楽しかったです。動物は見るのも好きだけど、自分でなりきるのも楽しかったです。参加してよかったです
- ・楽しかったので、らいねんあつたらまたきたい。

（まとめ）

ほとんどが面識のない子達で、最初はぎこちない雰囲気だったが、講師によるBGMや演出もあり、変身キャップ、フェイスペイント、ボディづくりをとおして盛り上がっていった。公園に移動しても気分は途切れずノビノビとゲームを楽しんでいた。片付けが大掛かりとなり、受講生が関われなかつたことが課題となつた。

WAKASAこどもクラブ

趣 旨： クッキングをとおして食に关心を持ち、またグループで取り組むことで団結して作る楽しさを味わうことを目的とする。

期 間： 平成24年12月26日、平成25年1月12日、2月9日、3月9日、の全4回

時 間： 14:00～17:00

場 所： 若狭公民館 実習室

対 象： 曙小学校、天妃小学校、若狭小学校児童（4年生～6年生）

受講料： 無料（保険料、食材費実費として1,000円は自己負担）

定 員： 15人

申込人数： 13人

参加延べ人数： 38人

学習プログラム

回	月日	内容	参加人数
1	12月26日	調理実習 「カップケーキ」	10人
2	1月12日	調理実習 「片栗粉を使っておやつ作り」	7人
3	2月9日	調理実習 「型抜きクッキー」	8人
4	3月9日	調理実習 「ハンバーグランチプレート」	13人



(受講者の声)

- ・みんなでいろいろ作ることができて良かったです。
- ・はじめて全部作ったのですが、そのわりには上手くできたり、とってもおいしかったです。レシピももらったので今度はとってもおいしく私の好きなハンバーグを作りたいです。
- ・みんなで料理を作ってとても楽しかった。今度はキャンプや自然教室に行きたいです。

(まとめ)

自分たちで作れるものを、ということで初回はホットケーキミックスを使った簡単カップケーキ、次は家庭に常備してある片栗粉とジャガイモを利用してのおやつ作り、最後は子ども達の好きなハンバーグ、盛り付けを工夫してちょっとおしゃれなプレート料理に、と回を重ねるごとにレベルアップして取り組みました。慣れた手つきで作業する子、何をしていいか戸惑う子、個人差がありましたがグループで協力し合って料理をすることで連帯感が生まれ、手作りの楽しさを味わえたことだと思います。

この講座をきっかけに食に興味をもち、家庭でもチャレンジして欲しいと思います。

[2] 青年のための講座・交流事業

うちなーぐちで伝える未来

趣 旨： ミュージシャンとして活動する知花竜海氏は、「しまくとうばプロジェクト」等を通じ、若手歌手によるしまくとうばライブなどを実施してきた。一方、比嘉光龍氏は、唄・三線を通じてうちなーぐちの普及について取り組んできた。両氏が、どのような意識をもってうちなーぐちについて取り組んできたのかを青年層に伝えることにより、沖縄の文化・社会を取り巻く状況を青年自身が考えるきっかけづくりとする。

期 間： 平成24年11月29日（木）全1回

時 間： 19:00～21:00

場 所： 若狭公民館 ホール

対 象： 那覇市内に在住・在勤・在学の青年

受講料： 無料

定 員： 50人（当日直接参加）

参加人数： 48人

学習プログラム：

回	日にち	講 師	内 容
1	11月29日(木)	比嘉光龍 (うちなーぐち講師) 知花竜海 (DUTY FREE SHOPP.)	うちなーぐちを正面に捉えて表現を行う2人による、「なぜ」「どうして」うちなーぐちなのか、うちなーぐちとの関わり、捉え方、そして自身の表現とうちなーぐちへの想いを、ライブを交えながらクロストーク形式で行なった。



(左) 講師2人によるクロストーク／(中) 詰めかけた多くの受講者／(右) 最後はライブで締めくくる

(参加者の声)

- ・うちなーぐちに特に興味というか考えていなかったけど、今回の講座を受けて、沖縄育ちの自分は、もっと誇りを持ち、目上の方達とも話せていいける様にならないといけない、と思いました。
- ・おもしろいユニットでした！！ うちなーぐちでしか伝わらないニュアンスをもっともっと大事にしてほしい（笑い涙　おもしろさ…　沖縄の心）　もう少し音楽聞いたかった。よかったです！

(まとめ)

青年層に近い若手の講師により、親しみやすい形式で講座を行なった。当日開場すると、講座の対象よりも上の年齢層の参加者の姿もみられたが、アンケートの結果などを踏まえると、青年層からもうちなーぐちに触れる目的を知り、行動を促されたとの回答が複数得られ、青年講座としての意義を果たせたと思われる。

[3] 親子ふれあい教室

“親子で防災”やってみよう！ ～若狭小学校・若狭幼稚園 編～

趣 旨： 東日本大震災以後、若狭公民館区域の自治会でも防災への取組みが本格化しており、行政とのやりとりも行われている。一方、PTAは自治会との関わりがない方が多く、地域の取組みや情報が行き届いていないのが現状である。本講座では、小学校区の児童と保護者を対象に、親子向けの防災講座を開催する。自治会役員の防災への取組みが、PTA世代と共有されることが目的である。

期 間： 平成24年6月29日（金）

時 間： 19：00～20：45

場 所： 若狭公民館 和室

対 象： 若狭小学校の児童、保護者、および若狭幼稚園の保護者。

受講料： 無料（但し、保険料として一人100円）

定 員： 親子で12組ほど。

申込人数： 6組14人

参加者数： 6組11人

講 師： 高野 大秋（那覇市社会福祉協議会）

学習プログラム		講師
講 話	被災地（福島、岩手）の現状、ボランティアセンターの役割。若狭地区の特徴、沖縄の津波や若狭地区の特徴等。	高野 大秋 氏 (那覇市社会福祉協議会)
クロスロード ゲーム	「避難まで10分。おばあさんがいるが助けに向かうか」等、カードゲームでシミュレーション。	
自治会との情報共有	地域の自治会長にオブザーバーとして参加していただき、行政や避難ビルになってほしいビルのオーナーへの相談など、自治会活動の紹介。	高野氏、上原 廣保 氏（若狭二丁目自治会長）、玉城 成男 氏（前島三丁目自治会長）



参加者の声

・マップを使って、避難場所がわかり易かったです。自宅も前島三丁目ですので、家族でも話し合いたいと思います。

・あまり、ふだん津波が来たときのことを考えていないので、ゲームという形で考えられるのは、子どもにわかりやすく、楽しんで学べるので、良いと思いました。また、親子で一緒に参加できるのも良いと思いました。

（まとめ）

PTAだけでなく児童クラブ職員の参加もあり、子どもと一緒に被災地の実情や、地域の避難場所について考えることができた。自治会長の活動も伝えることができたことは意義深かった。一方、二日目の受講生を集めることができず、一日だけの実施となり大きな反省点となった。講座の意義だけでなく、受講対象者のニーズ、スケジュールの把握が不十分であったことが原因であり、次回に生かしたい。

〔4〕放課後子ども教室

若狭公民館放課後子ども教室

～若狭ちむどんどん太鼓～

趣 旨：放課後の子どもたちの安全・安心な居場所として、公民館で活動することを通して、児童が地域社会の成員として意識し、主体的に地域づくりに参画できる人材となることを目的とする。
また、エイサーを通して地域の文化・芸能に触れると同時に、各地域行事で披露することで地域連帯意識の強化を促す。

日 時：平成24年4月1日～平成25年3月31日（毎週火・木曜日）

場 所：若狭公民館 ホール及び第1研修室

対 象：若狭小学校・天妃小学校 児童

登録児童：32人 参加延べ人数：2,876人

講 師：岸本麗子、東 澄子



毎週火・木曜日の練習の様子



公民館まつりオープニングで司会を担当



武雄市少年の船との交流会



新春もちつき大会

（参加者の声）

- ・1万人のエイサー やクリスマス会など、いろいろな体験ができる楽しいです。
- ・エイサーを通して友だちがふえました。がんばってもっと上手になりたいです。

（まとめ）

放課後の居場所づくりとして、毎週火・木曜日にエイサー練習を行っているほか、地域行事や各種イベントに積極的に参加している。発表の場が増えることで、児童のやる気と向上心が芽生え、練習にも一生懸命取り組むようになっている。また、七夕やクリスマス会など季節の行事を自分たちで企画・提案する場を設けることで、自立心と協調性を養うよう心がけており、異年齢交流のなかで、先輩に対する尊敬と後輩への優しさが身についてきるように感じる。

4 家庭教育学級

〔1〕乳幼児学級

Happyマタニティクラブ

趣 旨： 第1子出産予定の夫婦にとって我が子の誕生は待ち遠しい反面、不安も多い。安心して出産に臨めるように、また子育てを共有できるようにプログラムの内容によって夫婦参加型の学習会をする。

期 間： 平成24年6月16日、24日、30日、7月7日、14日 の全5回

時 間： 13:30～15:30

場 所： 若狭公民館 第2研修室・和室・実習室

対 象： 第1子出産予定（妊娠20週以降）の那覇市在住、在勤の妊産婦

受講料： 無料（但し保険料、食材費600円は、自己負担）

定 員： 15人

申込人数：9人

参加延べ人数：40人

学習プログラム

回	月日	内容	講師	人数
1	6月16日	妊娠中の栄養（妊産婦）	百名奈保(助産師)	6人
2	6月24日	栄養たっぷり！！手軽にクッキング（妊産婦）	安谷屋ますみ（栄養士）	7人
3	6月30日	産前、産後の体の変化、出産中のトラブル（夫婦）	百名奈保(助産師)	11人
4	7月7日	らくらく出産(ピラティス)（妊産婦）	百名奈保(助産師)	5人
5	7月14日	赤ちゃんとの生活（夫婦）	百名奈保(助産師)	11人



（受講者の声）

- ・同じ時期のママ友とも交流ができ勉強になりました。ありがとうございました。父親は2回の参加でしたが、全部参加できたらよかったです。
- ・ちょっとした心配ごとも気軽に聞ける雰囲気でとてもよかったです。無料でこのような講座をしていただき本当にありがとうございます。
- ・今後、定期的に離乳食やベビーマッサージ、ベビーサイン、父親の育児参加などの講座があればいいなと思います。

（まとめ）

今回は第1子誕生を控えた新米ママ、パパを対象に核家族化に伴う子育ての孤立化、不安を軽減しようと開催しました。受講者のほとんどが県外から移住した方で同じ子育て世代として仲間作りにもなりました。また夫婦で受講することで父親の育児参加にもつながったことだと思います。

5 その他の事業

[1] 地域連携事業

ピザづくり～前島学童クラブの試み～

趣 旨：主催団体「前島学童クラブ」は、前島小学校の子ども達が放課後を安心して過ごせるために、認可学童クラブをつくる活動を行ってきました。

平成24年4月2日に学童開所が実現しましたが、初年度は運営費等厳しい状況にあります。スタートが春休みで長時間の預かりから始まることも鑑み、子ども達の安心安全が確保されること、および豊かな生活体験づくりの提供を趣旨とします。

日 時：平成24年4月4日（水）10：00～15：00

場 所：若狭公民館 実習室、第一研修室

対 象：前島学童関係者および子ども達

受講料：無料

参加人数：41名

内 容	
9:30～10:00	学童関係者4名がカッティングした食材を持参し到着。公民館職員の指導を受けて下準備。
10:00～10:50	子ども27名、学童指導員、サポート一着。公民館職員が若狭海浜公園へ誘導、学童スタッフ指導でオニゴトコ、だるまさんが転んだ他。11:00に前半チームを公民館に案内。
11:00～12:30	職員を学童関係者がサポートする体制でピザ生地づくり、トッピング、電子レンジで焼くまでを指導。後半チームを公園から誘導。同様に指導を行う。
13:00～15:00	子ども前半チーム昼食。後半チームも焼き上がりしだい、第一研修室で昼食。一部の学童関係者と職員で、情報交換をしつつ昼食。公民館の利用方法も含め意見交換。終了。



(受講生の感想：大人)

- ・貴公民館スタッフの方々のご指導により、ピザづくりが無事できて子ども達の満足した様子にとても嬉しく、感謝申し上げます。材料を少なめに用意してしまい、申し訳ありませんでした。東様のご指導、とても良かったです。家で練習をかねて上手にできたら、是非、お持ちして、試食していただきたいです。その際には辛口で結構ですので、評価お願いします。
- ・妹達もすごくよろこんで、自分の作ったピザを食べていたので、また、かんたんに作れるおかしとか、開設してほしいです。
- ・はじめてのお出かけで、手際が悪い状態でしたが、笑顔でサポートして下さりありがとうございました。子ども達も私たちも、大、大、大満足です。本当にありがとうございました。

(受講生の感想：子ども)

- ・いつものピザもおいしいけど、じぶんでつくったのもおいしかったです。つくるときはみんなでつくれました。オーブンでやいてまつときは、まちきれなかつです。
- ・つくるのはたのしかったけど、まつのは、めんどくさいな～と、おもったけど、パンがありました。ここは、さいこうだなーと、おもいました。またきたいです。

(まとめ) 開所したばかりの認可学童クラブに、ピザづくりのレシピとノウハウを伝えることで、子ども達の生活体験に貢献することができた。前島小学校児童の放課後に、公共施設の利用を伝えることができた。

第16回 若狭地域文化祭

趣 旨：地域特性を活かし地域住民が関係機関・団体と連携・協力して文化的行事を企画実施することで、高齢者から幼児・児童・生徒までの三世代間の交流と地域の連帯意識の強化を柱に、祭りに訪れる県内外の観光客との交流を図り、地域文化を再認識するとともに、新たな文化を掘り起こし発信することにより、青少年の健全育成と豊かで活気に満ちた潤いのある地域を創ることを目的とする。

日 時：平成24年10月27日（土） 13:30～18:30

場 所：若狭海浜公園

参加人数：3,000人

主 催：NPO法人地域サポートわかさ

内 容

舞台発表	マーチング、エイサー、獅子舞、旗頭、ハワイアンフラ、ベリーダンス、他
子どもイベント広場	移動児童館、水風船飛ばし、絵本、紙芝居、他
各種ブース	健康相談（無料）、NSPC紹介ブース、呈茶コーナー
出 店	若狭公民館20周年記念資金造成バザー、スポーツ少年団バザー、他



（まとめ）

第16回を数える若狭地域文化祭は、若狭近隣地域の各自治会および小・中学校、保育所、ならびに各社会教育関係団体からなる実行委員会を立ち上げ、地域住民が主体となって企画・運営している。舞台発表は、幼児、児童・生徒、地域婦人部、サークル団体の発表の場となっているほか、旗頭、獅子舞、エイサー、琉舞道場の演舞もあり、地域の芸能文化に触ることができる。また、子どもイベント広場では、若狭児童館が移動児童館として様々なプログラムを実施しているのをはじめ、ボーイスカウトによる竹の遊具を使った遊びや沖縄福祉保育専門学校の生徒による大型紙芝居やエプロンシアターなども好評だった。このほか、展示ブースや呈茶コーナーなどもあり、文化体験を通して地域住民が交流できる場として根付いている。若狭地域文化祭を通して地域の絆が深まるのを感じる一方で、資金調達などの運営面の課題もある。

簡単しめ縄づくり

趣 旨： 親子でしめ縄づくりを体験することにより、懐かしい暮れの情景を思い出すと共に、家族の絆を深め日本の伝統を子ども達に伝える。

日 時： 平成24年12月22日（土） 13：00～16：00

場 所： 若狭公民館 第1研修室

対 象： 那覇市在住・在勤する方（小学校4年生以下は、親子で参加のこと）

受講料： 無料（但し、傷害保険料・材料費として一人200円は、自己負担）

定 員： 30人

申込人数： 36人

参加延べ人数： 36人

指導者：那覇市社会教育指導員OB会（ゆいの会）・地域ボランティア



(受講者の声)

- しめ縄をはじめて作りましたが、とても楽しかった。
- 親子で参加しました。2つ作ったのでおばあちゃんの所に1つプレゼントしようと思います。
- 縄をつなぐ時がたいへんだったが、手伝ってもらいやっと出来た。かざりを付けるのは、楽しかった。
- はじめてしめ縄づくりを体験しました。このような機会が出来良かったです。楽しく参加させていただきました。出来上がったしめ縄に大満足です。
- かざりを固定するところが苦労しましたが、なかなかの出来ばえに満足しました。この様な講座を開いていただき有り難うございます。

(まとめ)

那覇大綱挽きで使用した綱を利用し、日本の伝統的な正月飾りのしめ縄を手作りする講座を開きたい。親子で作業することにより手作りの楽しさを感じると共に絆を深め、子どもの頃の暮れの情景として思い出のひとつになればと思いこの講座を企画しました。試行錯誤しながらも楽しそうに制作する姿は、微笑ましく、出来上がった作品も皆さん満足していただけて良かったと思います。これからも、受講者の心に残るような講座を開いていきたいと思います。

若狭クリーン・グリーン・グレイシャス運動

趣 旨：地域の各機関が一丸となって清掃をし、親睦を通して青少年健全育成を図る。自治会、婦人会、小中高生、PTA関係者、NPO、公民館利用団体が参加し、若狭地域にある公園、道路、地域の清掃を実施し、プラスONE活動として、若狭公民館利用団体連絡協議会による豚汁の振舞いなべを吃ることで、親睦が深まることを趣旨とする。

期 日：平成24年12月16日（日）9：30～12：00

場 所：旭ヶ丘公園、若狭海浜公園、若狭公園、地域清掃

対 象：若狭小学校地区の保育園・幼稚園・小・中・高校生、自治会、婦人会、老人会、PTA関係者など

参加者：150人

プログラム

	時 間	内 容		人 数
1	9：30～11：00	地域清掃	オープニング、地域の清掃（若狭海浜・若狭・旭ヶ丘ほか）	150人
2	11：00～12：00	シンメーナービー 交流会	シンメーナービーで豚汁・おにぎりを食べながらの交流会（若狭公民館駐車場）	150人



NPO法人地域サポートわかさ主催、NSCP協賛。地域の自治会、若狭小学校から児童、校長先生、教頭先生も参加。代表挨拶は若狭小学校サッカー部。



若狭公民館二十周年実行委員会から資金造成の呼びかけ。子ども達には、地域行事で使用できる、こども地域通貨「ちっぴる」を配布。清掃終了後は、若狭公民館利用団体連絡協議会による振舞なべ。

（まとめ）

地域が主体となりCGGの呼びかけを行う本事業も第8回目。普段、目が届かないところにある燃えるゴミ、燃えないゴミ、草木類、カン、BIN、ペットボトル等の清掃・回収を行なった。

若狭公民館二十周年実行委員会からの資金造成の呼びかけにも反応があり、賑やかな雰囲気となった。

一方、参加人数が昨年よりも69名減った事は大きな反省となる。国政選挙投票日、小学校野球部、サッカー部の試合と重なった影響が予測される。

こども地域通貨「ちっぴる」の配布も浸透しており、楽しみにしている児童もいる。清掃後は若狭公民館利用団体連絡協議会による豚汁・おにぎりを振舞い、参加者で交流を深めることができた。

新春 もちつき大会

趣 旨：地域住民の交流と親睦を深め、豊かな潤いのある地域づくりをはかることを目的とする。

日 時：平成25年1月5日（土） 10：00～12：00

場 所：若狭公民館玄関前

対 象：地域住民すべて

参加費：無料

参加人数：参加者延べ人数：280人

【 プログラム 】

- 10：00 オープニング ①あゆみ保育園・・・・・ 子ども獅子舞・マーチング
②若狭ちむどんどん太鼓・エイサー（だんじゅかりゅし・笑顔のまんま）
③波上宮獅子舞保存会・・・・・ 獅子舞い
開会のあいさつ・・・・・ 地域サポートわかさ 早川忠光理事長
激励のことば・・・・・ 若狭小学校 桃原廣市校長
館長あいさつ及びつき始め式・・・・・ 若狭公民館 下地敏雄館長
- 10：30 つき始め



（参加者の声）

- ・子ども達にもちつきを体験させることができて良かった。
- ・つきたてのおもちがとてもおいしかった。

（まとめ）

「地域の皆さん健康と子どもたちの健やかな成長を祝いお餅をつきましょう！！」をテーマに、毎年恒例の行事でお正月の楽しみのひとつとなっています。

保育園児による獅子舞いとマーチング、子どもエイサー、波上宮の獅子舞いのオープニングで会場を華やかせ、家庭ではなかなか体験できない木臼を使用しての餅つきをしました。幼児から高齢者まで大勢の方が集まって和気あいあいとつきたてのお餅をいただきました。

これからも、新年初のめでたい行事として継続していくなら、と思います。

第18回 ナイトウォーク

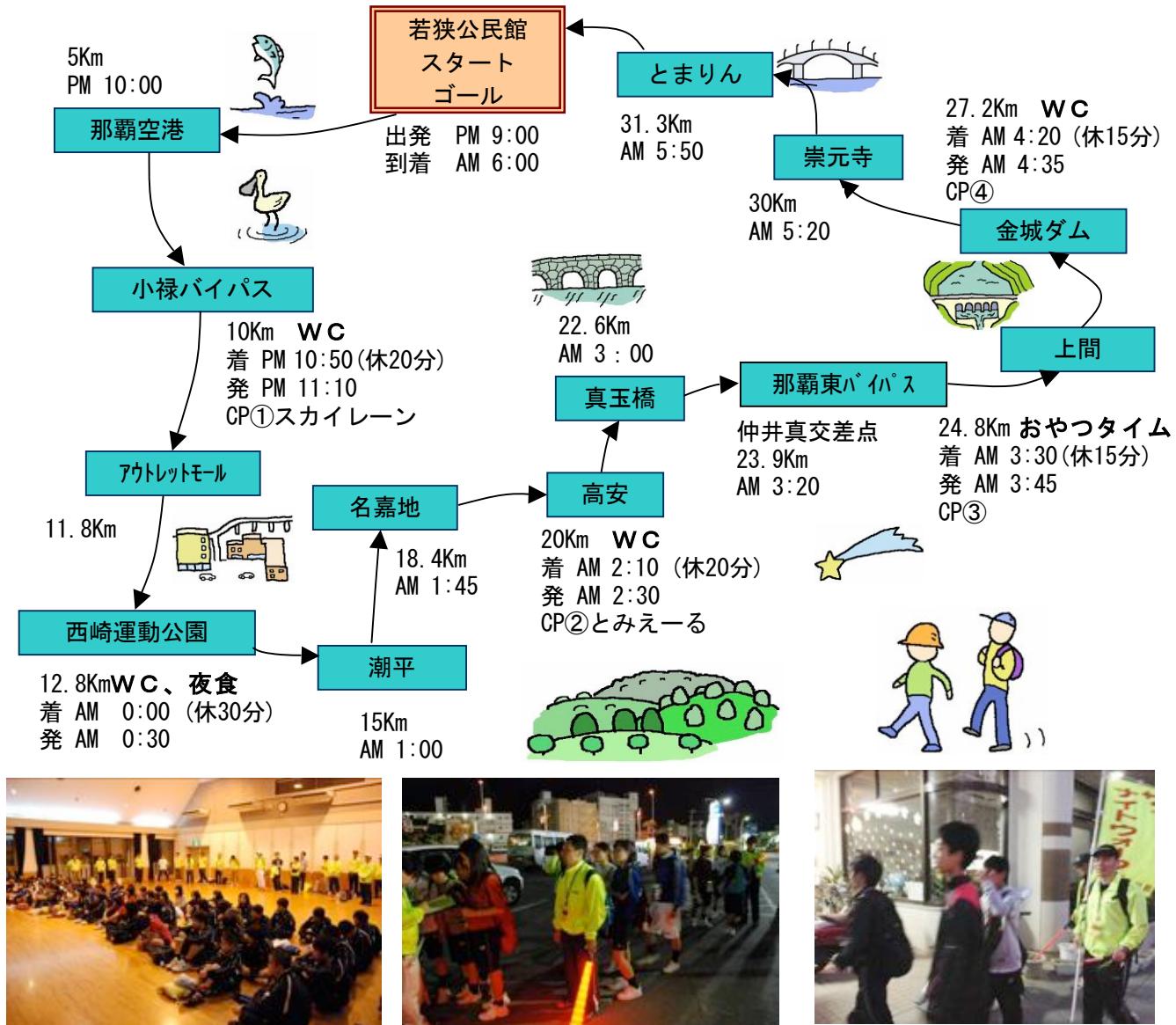
趣 旨： 中学生に対し、非日常的な体験の中でお互いを励まし助け合いながらゴールを目指すことにより、連帯感・達成感・充実感を共有し、困難に立ち向かい気力を培う機会を設け、地域青少年の健全育成を図ることを目的とする。

日 時： 平成25年3月16日（土）19：30集合～17日（日）7：30解散

対 象： 那覇中学校及び上山中学校の全生徒 募集人数：定員60人 参加人数：69人

参加費： 1,000円（夜食代・朝食代・おやつ代・保険料その他） コース：32キロ

協 力： （サポーター派遣）那覇市ウォーキング協会、（救護車および救護班人員派遣）医療法人陽心会、（トイレ借用）スカイレーン・糸満市西崎運動公園・朝まで屋・沖縄県金城ダム管理所



左：出発前の生徒とスタッフ／中：チェックポイントの様子／右：スタッフにも笑みがこぼれるゴール

(まとめ)

地域の方々、那覇市ウォーキング協会、医療法人陽心会、他公民館職員の応援も得て、安全指導等で大きな支障もなく、事故もなく終了した。例年サポーターとして参加して下さるスタッフには大変感謝したい。今年度は卒業年度の3年生の参加がみられ、中には3年間の参加を楽しみにしていた生徒の姿もあった。

このように生徒、スタッフが例年楽しみしている行事ではあるが、夜間に多人数で歩く以上は、安全管理等での問題点を洗い出し、今後も事故なく実施できるように留意したい。

6 公民館まつり

第21回 若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館で活動している団体（サークル）の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与え、団体（サークル）相互の連携を深めること。また、若狭および周辺地域を巻き込んだ「地域まつり」的な性格をもつ、まつりとしたい。本年度は開館二十周年にあたるため、共催には若狭公民館二十周年記念事業実行委員会も加わっている。

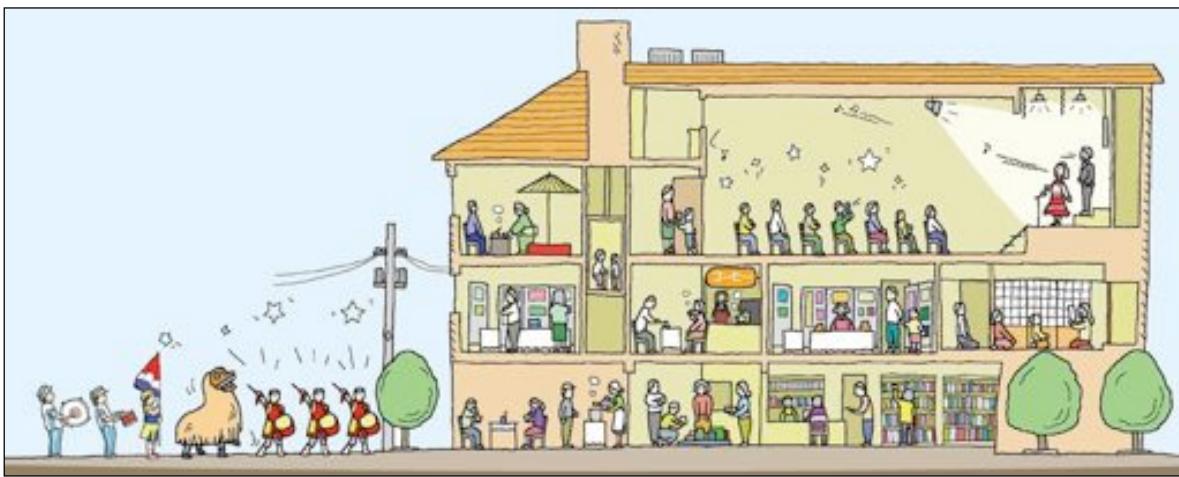
期 間：平成25年2月16日（土）、17日（日）、23日（土）

会 場：若狭公民館 参加延べ人数：3,027人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館・図書館、NPO法人地域サポートわかさ、若狭公民館二十周年記念事業実行委員会

内 容	時 間	会 場	参加人員
親子でつくろうお菓子の家	16日（土）10:00～12:00	ホール	35
オープニング	16日（土）13:00～13:40	公民館前道路	100
体験教室「こねこねランド」	16日（土）14:00～16:00	玄関前	30
音楽演奏のつどい	16日（土）14:00～16:30	ホール	400
展示発表	16日（土）10:00～17:00 17日（日）9:00～14:00	研修室	500
舞台発表	17日（日）11:00～14:00	ホール	1200
健康相談コーナー	17日（日）11:00～14:00	2階ロビー	12
出店コーナー	17日（日）10:30～14:00	玄関	300
喫茶コーナー	16日（日）10:00～14:00 17日（日）10:00～14:00	2階ロビー	350
社交ダンスパーティー	23日（土）18:30～21:00	ホール	100



（まとめ）

本年度は利用団体新会長、新役員体制のもと、若狭公民館利用団体協議会（45団体）が中心となり舞台発表、展示発表、運営が行われ盛り上がりを見せた。参加延べ人数が昨年より減となったのは、二日目の展示・舞台発表を例年よりも早く終了し、懇親会の時間帯に記念事業を開催した事が要因と思われる。まつり終了後には、記念式典（150人）・おまつり広場（150人）・祝賀会（250人）が開催され、来賓や関係者、現在の利用者が一緒に祝賀会を祝うことができた。

公民館まつり風景



体験教室「こねこねランド」



オープニング



親子で作ろう♪お菓子の家



音楽のつどい



展示発表



舞台発表



社交ダンスパーティー



開館20周年記念式典